

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定的一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、「読むこと」の領域において全国平均をやや上回ったものの、その他の領域では、やや低く課題がみられます。語句の意味の理解が不十分であること、「書くこと」の問題において、解答の筋道を立てることが弱い傾向にあります。解答形式別の正答率を見ると、「選択式」の問題の正答率が低いことから、選択肢の言葉や、意図を読み取ることへの苦手が感じられます。一方で、ほとんどの問題の無解答率が0%であり、諦めず問題に取り組む意欲が感じられます。
- ・数学の平均正答率は全国と同程度であり、一定の学力の定着がみられます。特に「データの活用」の領域は全国平均を上回り、累積度数や箱ひげ図の理解、データの傾向を説明する力に強みが見られました。一方、「数と式」の領域では、正の数と負の数の活用や同類項の理解、数量の関係を文字を使って表現・説明するところに、昨年度に引き続き課題があると考えられます。また、記述式の問題の無解答率は全国より低く、粘り強く解答しようとする姿勢がうかがえます。
- ・英語の平均正答率は、全国と同程度であり、一定の学力の定着がみられます。技能別に見ると、「読むこと・書くこと」は全国平均と同程度となっていますが、「聞くこと」がやや低くなっています。日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を「読み取る」問題では正答率が高い一方、「聞き取る」問題では正答率が低くなっています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向が認められる項目

平日の学習時間が2時間以上と答えた生徒が、全国平均を上回っています。また、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。」という問いや、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」という問いに対する肯定的な回答の割合が高く、意欲を持って生活していることが分かります。さらに、「友だち関係に満足していますか。」という問いに対して、大多数の生徒が肯定的な回答をしていること、家族との会話の頻度が全国に比べて高いことから、周りの人に支えられながら穏やかに毎日を過ごしていることが分かります。

・課題となる項目

「朝食を毎日食べていますか。」の問いに、「あまりしていない。」「全くしていない。」と回答した生徒が2割弱いること、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか。」の問いに、「3時間以上」と答えた生徒が6割を超え、「2時間以上」まで加えると8割以上になることから、生活習慣の改善が必要であることが分かります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語の授業で、言葉の意味を調べ、文脈上での意味を捉える学習を今まで以上に取り入れ、表現を的確につかむための基礎力を上げていきます。また、書く学習や話す学習の機会を増やし、苦手意識を払拭するとともに、相手により良く伝えるための構成と展開を考える力をつけられるように指導していきます。
- ・数学の授業では、正負の数や文字式など基礎的な内容について、具体的な場面と結び付けた復習の機会を継続的に設け、確実な定着を図ります。また、記述問題に粘り強く取り組む本校生徒のよさを生かし、考えを説明し伝え合う授業を今後も大切にしていきます。
- ・英語の学習では、引き続き「読むこと」「書くこと」「話すこと」について、グループ学習やペアワークなどを通して自分の考えや意見を表現する活動に取り組んでいきます。「聞くこと」については、授業での「聞き取り」の活動や、ALTと英語でやり取りする時間を増やすことで「聞き取る」力を高めていきます。
- ・生活習慣の改善が、より充実した学校生活を生み出すことを理解させ、改善に取り組めるようにしていきます。また、より一層の心理的安全性の確保（教室内では「発言しても否定されない」「失敗しても責められない」空気作り）に努め、生徒が「やってみよう。」という気持ちで挑戦し、自己実現ができるよう導いていきたいと考えています。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・睡眠時間を確保し朝食をしっかり摂って元気に登校するという生活習慣の確立に向けたご指導を、引き続きお願いいたします。スマートフォン等の利用については、ご家庭でのルールづくりやルールの再確認をお願いいたします。
- ・いろいろな世代や立場の異なる人の多様な考え方に触れることで、物の見方や考え方を育んでいく大切な時期です。家族で語らう時間や、社会で起こっていることに対して意見を交わす時間などを、工夫して生み出していただければ、ご協力をお願いいたします。